

## 二ツ井小学校3年生が天然秋田スギを見学しました！！

令和4年9月27日、二ツ井小学校3年生23名と先生等3名が仁鮎水沢スギ希少個体群保護林で天然秋田スギを見学しました。当署からは7名がスタッフとして参加し、案内等を行いました。

バスで到着した児童らは駐車場で整列。「はじめの会」を行いました。パンフレットの配付や持ち物を確認した後、スタッフの紹介と天然秋田スギを見学するにあたっての注意事項について説明。その後、天然林と人工林の違いを感じてもらうため、駐車場に隣接するスギ人工林の説明からスタートし、3班に分かれて保護林へと進みました。



【はじめの会】



【泣き杉の前で】

保護林では、まず「泣き杉」（直径94cm高さ40m）がお出迎え。そこで名前の由来について説明。次に案内板の前で保護林の概要について説明を行いました。東京ドーム約4個分の面積に約2,800本の天然秋田スギが立っているとの説明については、実感がわかないような雰囲気・・・その後、いよいよ天然林の中へ。歩道沿いに林立する天スギの大木に歓声をあげながら進んでいきました。保護林の中の遊歩道は整備されているものの、日光があまり差し込まないため濡れていて滑りやすく、こわがってなかなか進めない児童もいて、大渋滞となる場面もみられました。

また、途中で輪尺と直径巻尺を使った天然秋田スギの胸高直径の測り方の説明に興味をもったようでした。

「恋文杉」、「仁鮎杉」といくつかの大木をみながら、天然秋田杉では高さ日本一の「きみまち杉」（直径164cm高さ58m）へ到着。スタッフからきみまち杉について説明を受け、直径や樹高を確認するな

保護林では、まず「泣き杉」（直径94cm高さ40m）がお出迎え。そこで名前の由来について説明。次に案内板の前で保護林の概要について説明を行いました。東京ドーム約4個分の面積に約2,800本の天然秋田スギが立っているとの説明については、実感がわかないような雰囲気が・・・その後、いよいよ天然林の中へ。歩道沿いに林立する天スギの大木に歓声をあげながら進んでいきました。保護林の中の遊歩道は整備



【案内板で保護林について説明】



【木道で大渋滞】



【輪尺は胸高部を測ります】



【直径巻尺ではこんな感じ】



【終わりの会では質問が】

どした後、班ごとに写真を撮りました。

その後駐車場にもどり「おわりの会」を実施。児童6名から天然秋田スギ等に係る質問が出されました。「きみまち杉はどうしてそう呼ばれるようになったのですか」、「きみまち杉は何歳ですか」といった定番のものから、「きみまち杉はおよそ何キログラムくらいですか」、「ニツ井町にどのくらいスギの木がありますか」といった回答に窮するようなものまで出され、スタッフを困らせていました。

最後に児童の代表からお礼が述べられ、天然秋田スギの見学を終了しました。

約1時間程の見学でしたが、児童達は身近なところにある大きな天然秋田スギに驚きと興味をもったようでした。これからも好奇心をもちながら、森林と触れ合い、森林の果たす役割や環境、そこから生み出される木材などについて、少しずつでもいいので学んでいってほしいと思います。



【きみまち杉と記念撮影】